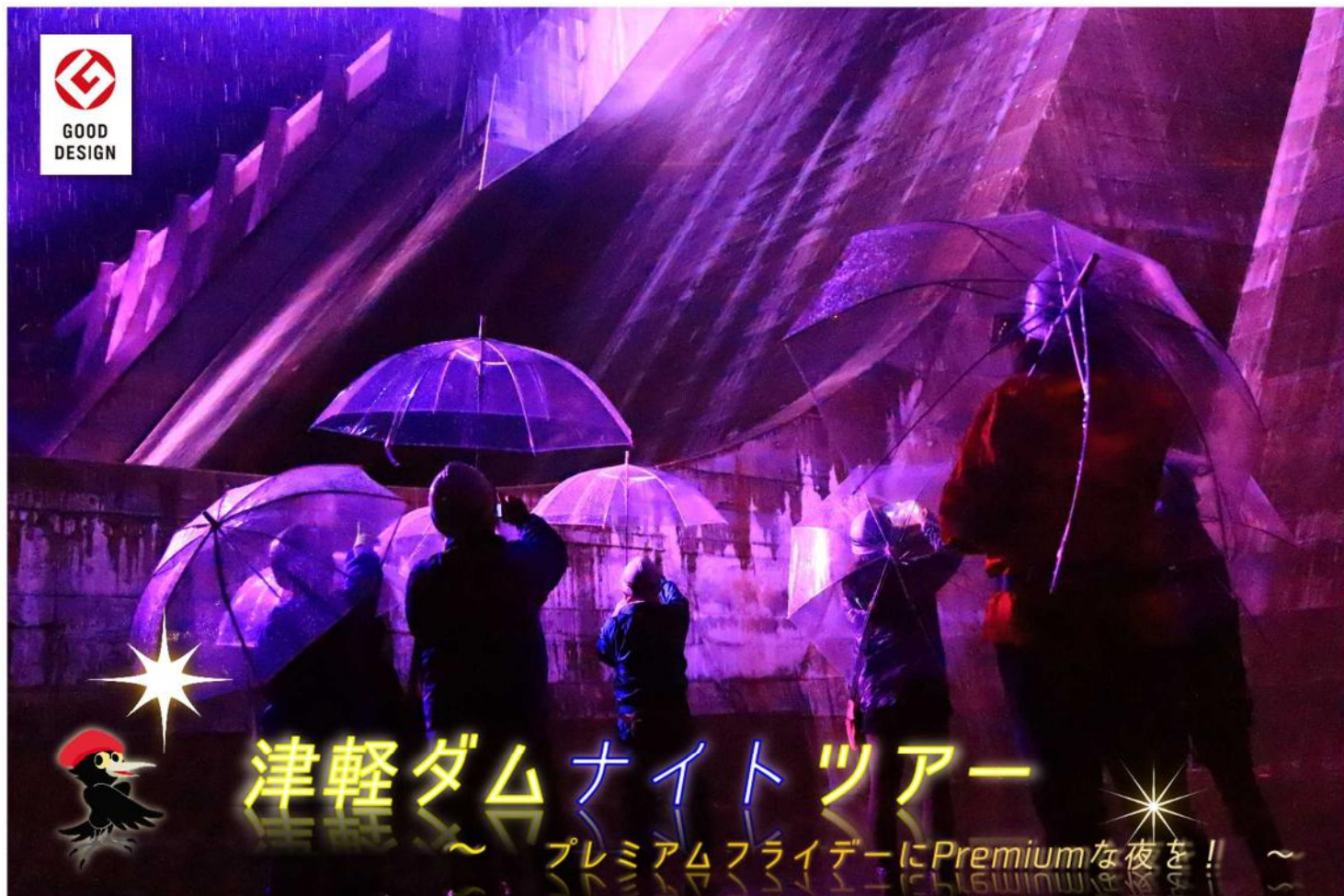


# 岩木川ダム 統管だより

031号  
2019年  
11月20日



▲ダムから外に出ると・・・暗闇に浮かび上がる“幻想空間”に思わず歓声が上がります！！

令和元年10月25日（金）、事務所主催イベントとして“津軽ダムナイトツアー”を実施しました。このナイトツアーは、昨年に続き2度目の開催で『プレミアムフライデーにプレミアムな夜を！』のテーマに、日の入りが早くなる秋のライトアップ期間に“津軽ダム”のライトアップとダム見学を同時に楽しんでいただきたいとの思いで企画したものです。

当日は、残念ながら雨の中での開催になりましたが『展望所からダムのライトアップ』を眺め、『堤体内部の監査廊』を通り、『下流からライトアップされたダム』を見上げるというコースで見学しました。

ダム堤体内の見学を終え監査廊の出口扉を開けた瞬間、眩く煌びやかにライトアップされた高さ97.2mのダムが現れ、そこはまるで無限に広がる幻想空間に迷い込んだような錯覚に陥ります。

雨の中にも関わらず残念な素振りを見せない8名の参加者達からは、『凄い！』『雨の中でも綺麗！』等の声があちこちで飛び交っていました。生憎の天候ではありましたが、寒い雨の中でも真剣に説明を聞いて下さった方々に感謝します。ありがとうございました！



▲雨の中“ナイトツアー”に参加して下さった皆さん



# 『弘工祭』にダムコーナーを設置！



令和元年10月19日(土)・20日(日)の2日間、青森県立弘前工業高校の文化祭『弘工祭』に岩木川ダム統管理事務所コーナーを設置し、“浅瀬石川ダム・津軽ダム”をPRしました。

津軽ダム工事事務所時代から数えると今年で12回目の参加となる今回は、ダムの役割や地域活性化への取り組みを紹介したパネル展示はもちろん、パソコンでの事務所HP検索やドローンからのダム空撮映像等の上映、浅瀬石川ダム・津軽ダムの模型の設置など例年よりパワーアップした盛りだくさんの内容で参加しました。

また、“リクルートコーナー”としての就職活動の参考情報パネルなどを設け、ダムや川、国土交通省の仕事をより身近に関心を持ってもらえるように工夫をしました。

会場を訪れた方々は、特にダムの模型や上映されている映像に興味津々の様子で、大変好評を博した2日間となりました。

# 『津軽ダム』プロジェクトを紹介！

## ～JCCA×JIA協働シンポジウム～

10月17日(木)から19日(土)まで、前川建築の代表的建造物である弘前市民会館などを会場に『JIA建築家大会2019青森 in HIROSAKI』が開催されました。

大会2日目には『第13回JCCA×JIA協働シンポジウム』が行われ、「誰が景観を創るのか」をテーマに土木や建築の実務者などの専門家、地元関係者などによる活発な議論が交わされました。

今回、当事務所の三浦技術担当副所長が「津軽ダムについて～白神の自然と人が出会う新風景～」と題して津軽ダムプロジェクトについての講演を行い、「自然・景観・人」に配慮された建物や「ライトアップ・見学会・津軽白神湖まつり」などの地域活性化への取り組みを紹介しました。

その後行われたパネルディスカッションでは、津軽ダム建設に関わった専門家たちから津軽ダムの景観検討の体制、掲げた理念、目指したデザイン、土木と建築との融合などの紹介や、当時の秘話が語られ会場は関心の声などで溢れ大変和やかに進行されていきました。

弘前大学大学院 地域社会研究科長の北原啓司教授は、このシンポジウムの結びに「誰が景観を創るのか」というテーマを問えば、人が創るものではない。だが、人が関わることによって土木景観・建築景観になり、新しい自然の景観になる。人と文化と生活が絡んで、一緒にやってきたことが津軽ダムのグッドデザイン賞受賞にもつながったのではないだろうか。我々には、こういった景観を育てていく役割と責任がある。」と話していました。

(※ JCCA:一般社団法人 建設コンサルタンツ協会、JIA:公益社団法人 日本建築家協会)



▲津軽ダムについて講演をする三浦技術担当副所長



# 現場レポート第5弾

～浅瀬石川ダム・水密ゴム交換作業をレポート～



浅瀬石川ダム  
イメージキャラクター あっちゃんどびす



●日時：令和元年10月10日（木）  
●天気：晴れ

浅瀬石川ダム管理支所の期間業務職員佐藤がレポートしました！



▲ Crest Gate No. 1 and 2 water seal rubber replacement in progress!



▲ View from the upstream side of the crest gate. The work site is high and sloped, so you can only see with your hands sweating...

今回は、19年ぶりに行われている浅瀬石川ダムでのクレストゲート水密ゴム交換作業の様子をお伝えします！

浅瀬石川ダムにはクレストゲートが4門設置されていて、全閉時に完全止水するために側部にL型、底部に平型の“水密ゴム”が取り付けられています。止水という重要な役割を担う水密ゴムは、用途によって天然ゴムと合成ゴムが使い分けられています。クレストゲートには耐候性と耐油性に優れた合成ゴムを使用していますが、前回の交換から1号ゲートは18年、2号ゲートは19年が経ち点検の結果、交換することになりました。めったに見ることができない作業に胸が高鳴ります！

現場に向かい、上流側からクレストゲートを見ると、水密ゴムのある扉体の両サイドと下を囲むように足場が組まれていました。この足場を使って古い水密ゴムを撤去し、扉体のボルト穴に合うように、新しい水密ゴムに穴をあけるための印をつけます。より正確に扉体に水密ゴムを密着させるために、水密ゴムの穴あけは現地で行うことが大切なのです。

取材時は、ちょうど水密ゴムの穴あけ作業が行われていました。側部と底部の3パーツに分かれた長い水密ゴムに穴をあけるのですが、失敗できない緊張感が感じられました。

水密ゴムを扉体に取り付ける時は、ステンレス鋼板でゴムを挟み、ボルトで扉体に固定します。また、ボルトを締めすぎないように、ゴムと同じ厚さに切った管を取付穴に入れて、ゴムの厚さ以上は締まらないように工夫されていました。

今回の取材を通し、20年近く止水できる水密ゴムは、とても緻密な工程により、その耐久性が保たれていることを実感しました。大きなダムにとって水密ゴムは1つの部品ですが、その役割はとても大きく、安全を支えるとても重要なものでした。

この作業は11月中旬まで続きます。取材したのは作業の一部ですが、水密ゴムやゲートの仕組みを知ることができ、とても貴重な体験となりました！



▲ A specialist explained the water seal rubber in detail!



▲ Drilling holes into the long water seal rubber. Concentration is key to avoid failure!



▲ Water seal rubber before construction.



▲ Hole drilling completed!



▲ Pushing the stainless steel plate against the rubber.



▲ Tightening the bolt with care to avoid over-tightening.



# 民視テレビ(台湾)が津軽ダムにやってきました!



台湾の女優でタレントの陳美鳳(チェンメイフォン)さんが、令和元年10月26日(土)自身が司会を務める旅番組『美鳳有約』の撮影で津軽ダムを訪れました。

陳さんらは、三浦副所長の案内で世界自然遺産白神山地の紅葉と津軽ダムの眺望やダム堤体内などを約一時間撮影しました。

今回の取材映像は、11月下旬頃～12月上旬に台湾のテレビで放送され、“YouTube”でも公開される予定とのことです。

台湾でのPRが、今後の訪日旅行の増加へ繋がることを願っています。



▲真剣な表情で撮影に挑む三浦副所長

# 自然環境を学ぼう ビジターセンター 秋のふれあいデー

令和元年10月19日(土)～20日(日)の2日間にわたり、白神山地ビジターセンター“秋のふれあいデー”が開催されました。

特に日曜日は天候にも恵まれ、駐車場が満車になる程の混雑ぶりを見せていました。紅葉シーズン真っ盛りの西目屋村は、絶好の秋空の下、多くの家族連れの楽しい笑い声や歓声で溢れかえっていました。



▲大賑わいのビジターセンターの様子



▲おでかけ動物園で人気のふれあいコーナー



▲紅葉と祭りを楽しむ家族たち



▲プチプラコ製作体験



## 白神が故郷橋パーク



11月25日(月)  
17:00から  
冬期閉鎖します

白神が故郷橋パークは、県道岩崎西目屋弘前線冬期閉鎖に合わせて、11月25日(月)17:00から入口ゲートを冬期間閉鎖します。

※詳細は、HPをご覧ください



津軽ダムイメージキャラクター  
バックカー君

今年も沢山のご来場ありがとうございました。

●岩木川ダム統管管理事務所ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>

### 編集後記

先月末、今年2回目になる岩木山登山に行ってきました! 偽物の山ガールは車で八合目まで…リフトで九合目まで…と上を目指しました(笑)。九合目からは歩いて約40分程で山頂。「なんか荷物多くない?」と言うと友人は大笑い! なんせ大きくなった荷物は自分の脱いだ衣類…

『山を舐めるな』と着込んだ装備は山頂に着く頃には半袖になっていました。大量の汗に運動不足を痛感です。

これから体を動かすのが億劫な季節になりますね。でも、体を動かす機会をどんどん作っていきたいと思います!! 皆様! ダム見学で体を動かしませんか~? いい運動になりますよー(対馬)

### 編集・発行

国土交通省 東北地方整備局  
岩木川ダム統管管理事務所

〒036-1422  
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平  
字寒沢138-2  
TEL 0172-85-3035  
FAX 0172-85-3061

岩木川ダム統管管理事務所  
ホームページアドレス  
<http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>

